

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL <https://www.jcm-hq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6643-8400
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	31,557	△16.6	2,497	△49.1	3,525	△24.6	4,692	23.1
2025年3月期	37,815	19.6	4,910	73.0	4,676	31.1	3,810	16.1

（注）包括利益 2026年3月期 5,104百万円（△12.8%） 2025年3月期 5,851百万円（51.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	173.14	—	13.8	6.9	7.9
2025年3月期	140.98	—	12.6	9.6	13.0

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 △10百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	52,222	35,845	68.6	1,321.49
2025年3月期	49,385	32,031	64.9	1,189.39

（参考）自己資本 2026年3月期 35,845百万円 2025年3月期 32,031百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	5,876	743	△3,143	21,738
2025年3月期	7,637	△390	△2,789	17,457

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	14.00	—	36.00	50.00	1,346	35.3	4.5
2026年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,085	23.1	3.2
2027年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		47.2	

（注）2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 記念配当10円00銭（創業70周年記念配当）

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,200	36.7	2,200	168.0	2,300	127.4	1,600	△51.3	58.99
通期	39,000	23.6	3,000	20.1	3,100	△12.1	2,300	△51.0	84.79

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	29,672,651株	2025年3月期	29,672,651株
2026年3月期	2,547,614株	2025年3月期	2,741,926株
2026年3月期	27,101,969株	2025年3月期	27,028,818株

（参考）個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,152	△32.1	△2,060	—	1,068	△63.6	3,175	20.1
2025年3月期	16,420	46.0	991	20.2	2,939	28.4	2,644	△16.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	117.15	—
2025年3月期	97.83	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	32,496	20,172	62.1	743.68
2025年3月期	31,549	17,886	56.7	664.16

（参考）自己資本 2026年3月期 20,172百万円 2025年3月期 17,886百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.6「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結損益計算書に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報の注記)	19
(重要な後発事象の注記)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の通商政策を巡る不確実性の高まりや、中東地域をはじめとする不安定な国際情勢に起因する地政学的リスクによる景気減速の懸念が強まるなど、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの主力市場であるグローバルゲーミング市場においては、米国の通商政策や地政学的リスクによる大きな影響は見られず、北米地域のカジノホテル等向け需要が堅調に推移する一方で、欧州地域向けの販売は同地域の景気減速感に伴い引き続き弱含みで推移し、また、国内コマース市場及び遊技場向機器市場においては、前年度の新紙幣発行に伴う更新特需の反動が想定以上に大きく、顧客の設備投資に対する慎重な姿勢が見られました。

このような事業環境の下、グローバルゲーミング市場においては、北米地域を中心とした堅調な需要を背景に、紙幣識別機ユニットやプリンターユニット等の主力製品の販売拡大に取り組むとともに、収益性の高い製品・サービスの提供を通じて、当社グループの中核事業として収益力の最大化を図りました。

一方、海外コマース市場においては、欧州地域を中心とした景気減速の影響により、大口顧客の在庫調整が継続したほか、積極的に新規市場開拓を進めている北中南米地域においては、案件は着実に増加しているものの、当年度の業績への寄与は限定的であり、欧州地域での販売減少を補うには至りませんでした。

また、国内の各市場では、新紙幣発行に伴う特需の反動の影響が大きく、さらに遊技場向機器市場では、スマート遊技機の普及が当初想定を下回ったことも重なり、売上高は前年度を大きく下回る状況となるなど、当年度の業績は、事業セグメントごとの回復・成長の進捗に濃淡がみられる結果となりました。

以上により、当連結会計年度の売上高は、31,557百万円（前連結会計年度比16.6%減）となり、営業利益は2,497百万円（前連結会計年度比49.1%減）、経常利益は3,525百万円（前連結会計年度比24.6%減）と、いずれも前年度を下回りました。一方、当第2四半期に固定資産売却益を特別利益として計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は4,692百万円（前連結会計年度比23.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドル149.79円（前連結会計年度152.28円）、ユーロは169.58円（前連結会計年度164.45円）で推移いたしました。また、決算期末の時価評価に適用する期末日為替レートは、米ドル159.93円（前連結会計年度末149.53円）でありました。

セグメント別の売上高の状況については、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

		前連結会計年度 (2025年3月期)	当連結会計年度 (2026年3月期)	増 減	
				金 額	率(%)
グローバル ゲーミング	売上高	21,477	21,471	△ 5	△ 0.0
	セグメント利益	4,368	5,016	648	14.8
海外 コマース	売上高	5,707	4,716	△ 991	△ 17.4
	セグメント損失(△)	△ 566	△ 274	292	—
国内 コマース	売上高	3,805	2,089	△ 1,716	△ 45.1
	セグメント利益又は損失(△)	1,147	△ 86	△ 1,233	—
遊技場向機器	売上高	6,824	3,278	△ 3,545	△ 52.0
	セグメント利益又は損失(△)	1,437	△ 667	△ 2,104	—
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント損失(△)	△ 1,475	△ 1,492	△ 16	—
合 計	売上高	37,815	31,557	△ 6,258	△ 16.6
	営業利益	4,910	2,497	△ 2,413	△ 49.1

(注) 調整額にはセグメント間の内部売上高に係る消去額及び報告セグメントに直接賦課できない費用等が含まれております。

〈グローバルゲーミング〉

北米地域における堅調な需要を背景に、ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が増加した一方で、欧州地域向けの販売が減少したことなどから、セグメント売上高は21,471百万円（前連結会計年度比0.0%減）と微減となりました。利益面においては、当セグメントの主力市場である北米地域の売上増に伴い、セグメント利益は5,016百万円（前連結会計年度比14.8%増）となりました。

〈海外コマーシャル〉

当セグメントの主力である欧州地域向けの紙幣還流ユニットの販売が減少したことなどから、セグメント売上高は4,716百万円（前連結会計年度比17.4%減）となりました。利益面においては、北中南米地域向けの販売が僅かではあるものの増加傾向にあることから、セグメント損失は274百万円（前連結会計年度は566百万円の損失）と改善が見られました。

〈国内コマーシャル〉

流通・交通市場向けの紙幣還流ユニット等の主力製品の販売が減少したことなどから、セグメント売上高は2,089百万円（前連結会計年度比45.1%減）、セグメント損失は86百万円（前連結会計年度は1,147百万円の利益）となりました。

〈遊技場向機器〉

スマート遊技機の普及が当初の想定を下回ったことにより、スマート遊技機専用ユニット及び周辺機器の販売が減少したことから、セグメント売上高は3,278百万円（前連結会計年度比52.0%減）、セグメント損失は667百万円（前連結会計年度は1,437百万円の利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,837百万円増加し、52,222百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,852百万円増加し、43,318百万円となりました。「現金及び預金」が1,848百万円、「有価証券」が3,688百万円それぞれ増加した一方、棚卸資産が4,092百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,005百万円増加し、8,822百万円となりました。「投資有価証券」が2,682百万円増加した一方、東京本社事務所の売却などにより「有形固定資産」が1,453百万円減少いたしました。

繰延資産合計は、社債発行費の償却により、前連結会計年度末に比べて20百万円減少し、81百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて522百万円減少し、7,545百万円となりました。「未払法人税等」が360百万円、契約負債の増加などにより「その他流動負債」が226百万円それぞれ増加した一方、「支払手形及び買掛金」が767百万円、借入金の返済により「1年内返済予定の長期借入金」が300百万円それぞれ減少いたしました。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて454百万円減少し、8,831百万円となりました。「繰延税金負債」が542百万円増加した一方、借入金返済により「長期借入金」が1,200百万円減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,814百万円増加し、35,845百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより「利益剰余金」が3,180百万円増加し、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分等に伴い「自己株式」が281百万円減少した一方、有価証券の時価評価による「その他有価証券評価差額金」が400百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4,280百万円増加し、21,738百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は5,876百万円（前連結会計年度は7,637百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益6,804百万円、棚卸資産の減少4,276百万円などにより資金が増加した一方、有形固定資産除売却損益3,256百万円、仕入債務の減少915百万円、法人税等の支払額909百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は743百万円（前連結会計年度は390百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入5,107百万円、投資有価証券の売却による収入503百万円などにより資金が増加した一方、投資有価証券の取得による支出4,089百万円、有形固定資産の取得による支出933百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は3,143百万円（前連結会計年度は2,789百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,500百万円、配当金の支払額1,507百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額804百万円の資金の増加がありました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	69.6	70.0	60.1	64.9	68.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	60.4	90.7	77.4	55.0	52.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(年)	3.8	—	—	1.4	1.6
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	47.2	—	—	79.4	60.7

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期（2027年3月期）における当社グループを取り巻く事業環境は、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクの継続に伴い、原油供給の不安定化やエネルギー価格の上昇、部材価格の高騰等の影響が想定されることから、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、主力事業であるグローバルゲーミング事業につきましては、北米地域を中心とした堅調な需要を背景に、主力製品の販売拡大及び収益性の高い製品・サービスの提供を通じて、当社グループの中核事業として収益力の最大化に引き続き取り組んでまいります。

また、海外コマース事業につきましては、これまで取り組んできた北中南米地域での市場開拓が進展し、業績面にも成果として表れつつあります。こうした状況のもと、富士通フロンテック株式会社の中・小型リサイクラー/ディスペンサー事業の譲受を通じて、開発力の強化、製品ラインナップの拡充及び顧客ネットワークの強化並びに事業シナジーの最大化を図り、金融・流通・交通市場向け製品の競争力向上と新規市場開拓を推進してまいります。

国内コマース事業につきましては、流通・交通・金融市場向けの既存需要への対応に加え、クリニック向けをはじめとする新たな市場領域の開拓を強化し、需要基盤の拡大と収益性の改善に取り組んでまいります。

遊技場向機器事業につきましては、近年の遊技場業界の構造変化を踏まえ、他の余暇市場へのシフトを含む新たな事業領域への展開等あらゆる可能性を検討してまいります。

これらの取り組みにより、既存事業の収益基盤を強化するとともに、成長領域への経営資源の投入を進め、事業ポートフォリオの強化と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

なお、次期の為替レートは、米ドル150円、ユーロ175円を想定しております。

次期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
次期予想	39,000	3,000	3,100	2,300
当期実績	31,557	2,497	3,525	4,692
増減額	7,442	502	△425	△2,392
増減率 (%)	23.6	20.1	△12.1	△51.0

このような環境のもと、当社グループは、現在策定を進めている次期中期経営計画において、持続的な成長と収益力の向上に向けた事業戦略及び経営目標を明確化し、近日中に公表する予定であります。

なお、当該中期経営計画における主な経営目標数値は、以下のとおりであります。

次期中期経営計画期間（2026年度～2028年度）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
2026年度（2027年3月期）	39,000	3,000	2,300
2027年度（2028年3月期）	41,000	3,700	2,600
2028年度（2029年3月期）	42,000	4,100	2,900

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループでは、利益配分に関する基本方針として、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、株主の皆様への利益還元である配当の安定的な実施を勘案し、連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率にも配慮して決定することとしております。

以上により、当期の期末配当金につきましては、予想どおり1株につき20円とし、中間配当金（1株につき20円）を合わせた当期の1株当たりの年間配当金は、合計40円といたしました。

なお、当期は固定資産売却益3,277百万円を特別利益に計上したことから、連結配当性向は23.1%となりました。

また、次期の年間配当金につきましては、1株につき年間40円（連結配当性向47.2%）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,457,475	19,305,530
受取手形、売掛金及び契約資産	5,413,792	5,705,010
電子記録債権	654,606	519,022
有価証券	39,935	3,728,666
商品及び製品	10,636,484	8,928,193
仕掛品	727,067	441,360
原材料及び貯蔵品	5,698,136	3,600,018
その他の流動資産	971,700	1,224,634
貸倒引当金	△133,364	△133,840
流動資産合計	41,465,835	43,318,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,270,868	625,416
機械装置及び運搬具（純額）	125,829	103,351
土地	1,539,964	447,375
リース資産（純額）	9,946	37,151
その他（純額）	1,134,042	1,414,285
有形固定資産合計	4,080,651	2,627,580
無形固定資産		
ソフトウェア	54,769	45,257
ソフトウェア仮勘定	907	6,001
その他の無形固定資産	139,940	358,763
無形固定資産合計	195,617	410,022
投資その他の資産		
投資有価証券	950,992	3,633,322
退職給付に係る資産	740,341	891,190
繰延税金資産	1,354,662	808,813
その他の投資等	567,222	517,068
貸倒引当金	△72,635	△65,548
投資その他の資産合計	3,540,584	5,784,847
固定資産合計	7,816,854	8,822,450
繰延資産		
社債発行費	102,342	81,587
繰延資産合計	102,342	81,587
資産合計	49,385,032	52,222,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,201,881	1,434,513
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,200,000
リース債務	121,900	130,896
未払法人税等	485,210	845,233
賞与引当金	443,928	393,000
役員賞与引当金	46,000	46,000
その他の流動負債	3,269,499	3,496,342
流動負債合計	8,068,419	7,545,986
固定負債		
社債	6,000,000	6,000,000
長期借入金	3,120,000	1,920,000
リース債務	118,365	321,820
退職給付に係る負債	-	1,665
繰延税金負債	-	542,059
その他の固定負債	47,221	45,734
固定負債合計	9,285,587	8,831,278
負債合計	17,354,006	16,377,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,316	2,220,316
資本剰余金	2,760,065	2,700,615
利益剰余金	27,469,657	30,649,917
自己株式	△3,913,131	△3,631,470
株主資本合計	28,536,908	31,939,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,332	671,014
為替換算調整勘定	3,223,784	3,234,978
その他の包括利益累計額合計	3,494,117	3,905,992
純資産合計	32,031,025	35,845,371
負債純資産合計	49,385,032	52,222,636

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	※1 37,815,935	※1 31,557,095
売上原価	※2, ※4 22,474,788	※2, ※4 18,683,860
売上総利益	15,341,146	12,873,234
販売費及び一般管理費	※3, ※4 10,430,552	※3, ※4 10,376,139
営業利益	4,910,593	2,497,095
営業外収益		
受取利息	64,033	302,532
受取配当金	40,596	74,793
為替差益	—	675,569
補助金収入	21,317	—
その他	26,871	127,858
営業外収益合計	152,817	1,180,754
営業外費用		
支払利息	101,219	99,360
社債発行費償却	20,755	20,755
為替差損	125,506	—
貸倒損失	58,953	—
持分法による投資損失	10,471	—
その他	69,902	32,618
営業外費用合計	386,811	152,735
経常利益	4,676,600	3,525,114
特別利益		
固定資産売却益	※5 90,542	※5 3,277,057
投資有価証券売却益	16,917	—
関係会社株式売却益	18,991	9,066
その他	—	14,913
特別利益合計	126,452	3,301,036
特別損失		
固定資産除却損	※6 1,243	※6 20,971
投資有価証券売却損	—	250
関係会社株式清算損	2,858	—
特別損失合計	4,101	21,222
税金等調整前当期純利益	4,798,951	6,804,929
法人税、住民税及び事業税	1,153,776	1,236,659
法人税等調整額	△165,291	875,960
法人税等合計	988,485	2,112,620
当期純利益	3,810,465	4,692,309
親会社株主に帰属する当期純利益	3,810,465	4,692,309

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	3,810,465	4,692,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,820	400,681
為替換算調整勘定	2,076,759	11,194
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,151	—
その他の包括利益合計	2,040,788	411,875
包括利益	5,851,254	5,104,184
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,851,254	5,104,184
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,220,316	2,764,839	24,570,828	△2,353,842	27,202,141
当期変動額					
剰余金の配当			△911,637		△911,637
親会社株主に帰属する当期純利益			3,810,465		3,810,465
自己株式の取得				△1,576,560	△1,576,560
自己株式の処分		△4,773		17,272	12,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△4,773	2,898,828	△1,559,288	1,334,767
当期末残高	2,220,316	2,760,065	27,469,657	△3,913,131	28,536,908

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	287,152	1,166,175	1,453,328	28,655,470
当期変動額				
剰余金の配当				△911,637
親会社株主に帰属する当期純利益				3,810,465
自己株式の取得				△1,576,560
自己株式の処分				12,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16,820	2,057,608	2,040,788	2,040,788
当期変動額合計	△16,820	2,057,608	2,040,788	3,375,555
当期末残高	270,332	3,223,784	3,494,117	32,031,025

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,220,316	2,760,065	27,469,657	△3,913,131	28,536,908
当期変動額					
剰余金の配当			△1,512,049		△1,512,049
親会社株主に帰属する当期純利益			4,692,309		4,692,309
自己株式の取得				△190	△190
自己株式の処分		△59,450		281,850	222,400
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	△59,450	3,180,259	281,660	3,402,469
当期末残高	2,220,316	2,700,615	30,649,917	△3,631,470	31,939,378

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	270,332	3,223,784	3,494,117	32,031,025
当期変動額				
剰余金の配当				△1,512,049
親会社株主に帰属する当期純利益				4,692,309
自己株式の取得				△190
自己株式の処分				222,400
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	400,681	11,194	411,875	411,875
当期変動額合計	400,681	11,194	411,875	3,814,345
当期末残高	671,014	3,234,978	3,905,992	35,845,371

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,798,951	6,804,929
減価償却費	523,276	630,825
引当金の増減額 (△は減少)	27,049	△193,089
受取利息及び受取配当金	△104,629	△377,326
支払利息	101,219	99,360
社債発行費償却	20,755	20,755
為替差損益 (△は益)	200,160	△726,567
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△89,299	△3,256,086
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16,917	250
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△6,080
関係会社株式売却損益 (△は益)	△18,991	△9,066
関係会社清算損益 (△は益)	2,858	△8,832
持分法による投資損益 (△は益)	10,471	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,590,741	△4,513
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,776,829	4,276,859
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,823,556	△915,932
未収消費税等の増減額 (△は増加)	431,658	52,543
その他の資産・負債の増減額	272,481	118,141
小計	8,703,059	6,506,170
利息及び配当金の受取額	103,943	376,638
利息の支払額	△96,149	△96,734
法人税等の支払額	△1,073,687	△909,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,637,167	5,876,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△432,766	△933,766
有形固定資産の売却による収入	118,391	5,107,833
無形固定資産の取得による支出	△26,127	△14,707
有価証券の純増減額 (△は増加)	24,262	33,827
投資有価証券の取得による支出	△2,235	△4,089,883
関係会社株式の売却による収入	21,638	142,258
投資有価証券の売却による収入	29,404	503,000
差入保証金の差入による支出	△122,960	△10,830
ゴルフ会員権の売却による収入	—	6,090
その他	100	△505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390,294	743,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金返済による支出	△1,380,000	△1,500,000
配当金の支払額	△908,858	△1,507,400
リース債務の返済による支出	△123,611	△135,877
自己株式の取得による支出	△1,576,560	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,789,031	△3,143,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	477,051	804,484
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,934,893	4,280,716
現金及び現金同等物の期首残高	12,522,582	17,457,475
現金及び現金同等物の期末残高	17,457,475	21,738,192

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

※1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。

※2 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
	669,963千円	815,269千円

※3 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
給与・賞与	3,971,045千円	3,964,620千円
貸倒引当金繰入額	△8,479	2,339
賞与引当金繰入額	233,715	211,672
役員賞与引当金繰入額	46,000	46,000
退職給付費用	79,368	△50,168
支払手数料	927,864	790,633

※4 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
	1,718,427千円	1,695,594千円

※5 固定資産売却益の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
建物及び構築物	89,935千円	1,438,718千円
機械装置及び運搬具	607	—
土地	—	1,838,339

※6 固定資産除却損の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
建物及び構築物	0千円	810千円
その他	1,243	20,160

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、製品・サービスについて、事業毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業単位を基礎としたセグメントから構成されており、「グローバルゲーミング」、「海外コマーシャル」、「国内コマーシャル」及び「遊技場向機器」の4つを報告セグメントとしております。

「グローバルゲーミング」は、カジノホール及びOEM顧客向けの紙幣識別機・還流ユニット並びにゲーミング用プリンター製品等の販売を行っております。「海外コマーシャル」は、海外の金融・流通・交通市場向けの紙幣識別機・還流ユニット等の販売を行っております。「国内コマーシャル」は、国内の金融・流通・交通市場向けの紙幣・硬貨還流ユニット等の販売を行っております。「遊技場向機器」は、パチンコホール向けのメダル自動補給システム・紙幣搬送システムをはじめとする周辺設備機器等の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	21,477,477	5,707,853	3,805,899	6,824,704	37,815,935	—	37,815,935
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,477,477	5,707,853	3,805,899	6,824,704	37,815,935	—	37,815,935
セグメント利益 又は損失(△)	4,368,202	△566,696	1,147,412	1,437,004	6,385,922	△1,475,328	4,910,593
セグメント資産	21,507,587	7,293,240	2,317,597	3,421,267	34,539,693	14,845,338	49,385,032
その他の項目							
減価償却費	284,863	57,418	52,367	38,861	433,510	89,766	523,276
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	296,154	57,410	69,400	36,151	459,117	112,291	571,408

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,475,328千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
- (2) セグメント資産の調整額14,845,338千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
- (3) 減価償却費の調整額89,766千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額112,291千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	21,471,850	4,716,621	2,089,767	3,278,856	31,557,095	—	31,557,095
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,471,850	4,716,621	2,089,767	3,278,856	31,557,095	—	31,557,095
セグメント利益 又は損失(△)	5,016,851	△274,275	△86,045	△667,205	3,989,325	△1,492,230	2,497,095
セグメント資産	22,559,539	6,140,652	1,594,205	1,748,739	32,043,136	20,179,499	52,222,636
その他の項目							
減価償却費	365,547	55,754	54,346	34,019	509,667	121,158	630,825
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	772,786	109,435	108,766	57,312	1,048,300	199,455	1,247,756

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,492,230千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
- (2) セグメント資産の調整額20,179,499千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
- (3) 減価償却費の調整額121,158千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。

- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額199,455千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
10,634,481	14,736,744	10,085,277	2,359,432	37,815,935

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 北米のうち米国は14,603,296千円、欧州のうちドイツは5,055,523千円であります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
2,767,835	488,513	51,893	772,409	4,080,651

(注) 北米のうち米国は488,513千円、その他の地域のうちフィリピンは534,146千円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高のうち連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
5,379,335	16,064,850	7,482,827	2,630,082	31,557,095

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 北米のうち米国は15,979,606千円であります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
1,195,074	498,685	68,905	864,914	2,627,580

(注) 北米のうち米国は498,685千円、その他の地域のうちフィリピンは749,072千円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Aristocrat Technologies Inc.	4,329,869	グローバルゲーミング

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,189円39銭	1,321円49銭
1株当たり当期純利益	140円98銭	173円14銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,810,465	4,692,309
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,810,465	4,692,309
普通株式の期中平均株式数(株)	27,028,818	27,101,969

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。